

2012年8月 浜名様（株式会社モード・プランニング・ジャパン）

この度は、紹介会社向け診療同行見学会にお招き頂き、誠にありがとうございました。病院での病棟見学はよくある事ですが、在宅医療の現場を見学させて頂く事は、初めての経験でした。遠矢院長・片山看護師ともに、まずはお家族とコミュニケーションを取る事を大切にしており、看護・介護疲れをしないように、患者様の診療と同じくらい家族の体調を聞く配慮をされている事が印象に残りました。そして、プラタナス様の特徴の一つでもある有床診療所松原アーバンクリニックの案内をし、レスパイトケアの大切さを説いていました。

見学前は、「寝たきりの方が大部分を占めるのでは」と思っておりましたが、医師や看護師と普通に対話が出来の方も多くいる事に驚きを覚えました。そんな中でも「頑張って治して出かけたい」という患者さんもいれば、「長く生き過ぎて家族に申し訳ない」という患者さんもあり、治す事だけが全てではないのが、在宅医療だと感じました。

「リハビリ・認知症・緩和ケアとそれぞれ専門の医師がいる事で、自分では診る事が難しい専門外の分野も勉強出来る事」と「看護師が在宅医療の現場では主役であり、医療・看護だけでなく、ゆくゆくは医師のマネジメントまで出来る優秀な看護師に在籍してもらうのが理想であり、そんな中で働ける医師はとても働きやすい環境だ」という2点についてがプラタナス様の強みだと遠矢院長のお話の中から伺い知る事が出来ました。

どうしてもプラタナス様と言えば、iPhoneやレコーダーを利用した情報連携と業務の効率化を進める医療グループという特徴を思い浮かべがちになりますが、当然ながら遠矢院長や片山看護師の丁寧な会話・診療があってこそ成り立っている事が、改めて分かりました。

紹介会社の人間として、「先端機器のサポートがあり働きやすい」事だけを強調してアピールするのは大きな間違いであると痛感致しました。

このような機会を設けて頂いた株式会社メディヴァ様には本当に感謝申し上げます。この経験を、弊社社員と共有して、少しでも医師採用のお役に立てるように努めて参ります。